

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

教育いちかわ

子どもの姿 自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

家庭・学校 地域の姿 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

市川の教育の姿 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4

「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に20年！

「遊び」をキーワードとして、子どもたちに様々な体験活動を経験させ、幅広い年齢層の交流を深めることを目的とする「コミュニティクラブ事業」は、今年度、前身の「ナーチャリングコミュニティ事業」開始(平成9年度)から20周年を迎えることとなりました。

「コミュニティクラブ」の活動に参加したことはありますか？

「コミュニティクラブ」は、市内中学校・義務教育学校の学区を基にした16ブロックで組織しています。「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に、各ブロックのボランティアで実行委員会を作り、子どもたちの健全育成・コミュニティ作り・生涯学習社会の創造を目的として、学校を利用したキャンプやお化け屋敷、将棋教室など、地域の特性を活かした企画をしています。

活動内容は、大きく3つに分けられ、文化・スポーツなどの「継続活動」・キャンプやお化け屋敷などの「イベント活動」、公園や体育館での「自由遊び」があります。参加した子どもたちは、遊びを通じた社会・生活・自然体験や学校以外での触れ合いや語り合いなどから、多くのことが学べます。

昨年度、実施されたコミュニティクラブの活動の中から、いくつかご紹介いたします。

○ 第二中ブロック「遊びの広場」

第二中ブロックでは、毎月第2土曜日に菅野小の体育館や「すがの山」と呼ばれる外の広場

を使って「バドミントン」「ボール遊び」「ハンモック」「泥遊び」「たき火」等、参加した子どもたちが自由に遊べる活動を実施しています。また、体育館の2階では「将棋教室」が開催され、ボランティアの方と勝負することを楽しみに参加する子どもたちもいます。

○ 第六中ブロック「お泊りキャンプ」

毎年6月に稲荷木小で開催される「お泊りキャンプ」は、校庭での火起こし体験や校舎を使った肝試しなど、普段経験できない体験ができるということで人気の活動です。最近では、学校とコミュニティクラブスタッフとの連携に加えて、ブロックの中学生や大学のボランティアサークルなどがスタッフとして参加し、若い世代のリーダー育成も期待できる活動となっています。

○ 大洲中ブロック「親子ドッジボール大会」

大洲小・宮田小で実施される恒例行事となっています。学校の先生方も参加していただき、大いに盛り上がりました。



○ 第七中ブロック「囲碁・将棋教室」

初心者子どもたちにも、講師の先生がやさしく教えてくれます。囲碁や将棋が難しい子どもたちには、オセロコーナーもあります。主に

第七中学校の会議室で年間10回程度実施しています。

○ 妙典中ブロック「読み聞かせ」(ねぎぼうずの会)

昭和56年度、塩焼小学校開校時に市民図書室ボランティアの会から発足しました。毎週土曜日に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っています。昨年度は、活動開始から35周年ということでイベントを実施。約100名の方に来ていただきました。



こうした各ブロックの活動への参加方法は、直接活動場所へ行って誰でも自由に参加できることを基本としていますが、活動によっては定員や事前申し込みが必要な場合もあります。活動予定については、各学校や公民館などに掲示してある「遊びの情報」で確認してください。また、市川市教育委員会のホームページでも閲覧が可能です。

現在、コミュニティクラブ全体で約450名の方がボランティアとして登録しています。コミュニティクラブの活動にボランティアスタッフとして参加したい方も随時募集していますので、青少年育成課のコミュニティクラブ担当までご連絡ください。(383-9419)

【青少年育成課】

県内初！義務教育学校 教育次長に 松下大海氏

平成27年4月に、市川市で初めて9年間の小中一貫教育を推進する「塩浜学園」が開校しました。その後、国の法律の改正に伴い、市川市で新たに設置条例を制定し、より小中一貫教育の実効性を高められるように、平成28年4月より、新しい学校として義務教育学校へ移行しました。

○新しい学校の名称
「市川市立塩浜学園」

○学校の所在地
市川市塩浜4丁目5番1号及び市川市塩浜4丁目6番1号
※開校後も当面の間、現在、使用している小学校校舎、中学校校舎を使用します。

○主な特色
「塩浜ふるさと防災科の創設」「理数教育の充実」「き

め細かな教育の推進」を柱とし、地域・保護者とともに、特色ある学校づくりを推進しているところです。また、義務教育学校への移行に合わせて、塩浜学園は市内初のコミュニティ・スクールとなります。コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会を設置して、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりする取組が行われる学校のことです。

コミュニティ・スクールは、義務教育9年間の育ちと学びを地域ぐるみで支える仕組みとして大変に有効であり、小中一貫教育を推進する塩浜学園では、保護者や地域住民の理解と参画を得て、小中一貫教育の一層の推進と教育効果の更なる高まりが期待されます。

【義務教育課】 塩浜学園の校章



4月1日(金)、教育委員会教育次長に、松下大海(まつしたおおみ)氏が就任しました。

松下大海氏は、昨年度まで、文部科学省初等中等教育局で、主に教職員定数等の条件整備にかかる事業に取り組んでおられました。

松下教育次長に市川の教育に対する思いを漢字一文字で表し、その理由を語っていただきました。



歴史ある文教都市市川は自然や文化の「宝」に溢れています。そして、基本理念である「人をつなぐ未来へつなぐ市川の教育」のもと、多様な地域人材という「宝」がさまざまな形で市川の教育に関わっています。私は、この市川に溢れる「宝」を最大限に生かし、未来を担う「宝」である市川の子どもたちのために力を尽くしたいという思いから「宝」を選びました。

教育次長 松下 大海



次号より教育次長の連載が始まります。【教育センター】

学習賞表彰

平成27年度 市川市児童・生徒学習賞 ～昨年度より10件増え、57件を表彰～

去る3月24日(木)に、平成27年度市川市児童・生徒学習賞の表彰式がグリーンスタジオ(市川市生涯学習センター2階)で行われました。

この賞は学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収め活躍した個人・団体に与えられるものです。

37回目となった平成27年度の受賞は昨年度より10件増え、57件(個人

40件・団体17件)となりました。受賞者及び受賞団体には、教育長から賞状が、教育次長から記念品がそれぞれ授与されました。教育長からは、お祝いの言葉とともに、世界的なフィギュアスケート選手である羽生選手のように、

大きな壁にぶつかっても、あきらめず挑戦し続けることが大切であるという話がありました。式後の写真撮影では、出席者の凛とした姿と笑顔が印象的でした。

受賞者名及び受賞団体名や表彰件名等について

は、市川市教育委員会のホームページに掲載していますのでご覧ください。
【指導課】



考古博物館出張展示

こころの劇場

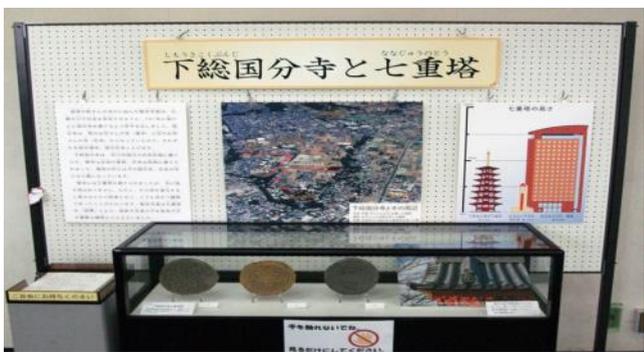
昨年度から考古博物館では、子どもたちや市民の皆さんに郷土の歴史や民族・文化に対する認識を深めてもらうため、市内の遺跡のミニ展示を学校、図書館、公民館で行っています。

今年の内容は、下総国分寺に建立された七重塔が古代王権の権威の象徴であったことを示す国分寺出土瓦3点とパネルを3点を展示します。

出張展示予定は、以下のようになっています。

- 4月28日～6月中旬：西部公民館
- 6月中旬～7月中旬：和洋国府台女子中学校
- 7月中旬～9月中旬：中央図書館(期間中に学芸員による講演会あり)
- 9月中旬～10月中旬：中国分小学校
- 10月中旬～11月中旬：第二中学校
- 11月中旬～12月：第一中学校
- 1月中旬～2月中旬：国府台小学校
- 2月中旬～3月下旬：市川公民館(期間中に学芸員による講演会あり)

来年度以降についても、多くの学校や公民館等で出張展示を行いたいと考えています。
【考古博物館】



5月9日(月)、市川市文化会館大ホールにて「こころの劇場」が行われました。「こころの劇場」は、劇団四季が「舞台芸術の鑑賞を通じて、人が生きていくうえで最も大切なものを子どもたちの心に語りかけ、道徳・情操教育に寄与する」という趣旨のもと、全国の子子どもたちを劇場に招待し、無料公演を行っているものです。例年、市川市では、小学校6年生を対象に実施しています。今年度は、午前・午後の2回公演でも文化会館に入りきらない程の申し込みがあったため、抽選により決定した34校が観劇しました。

今年の演目は、5年ぶりの上演となった「エルコスの祈り」でした。50年後の世界の「ユートピア学園」を舞台に、問題児と決めつけられ、スパルタ管理教育を受けているうちに、夢や個性、笑いを失ってしまった子どもたちと、心を持ったロボット、エルコスとの心の交流を描いた物語です。子どもたちは、食い入るように舞台を見つめ、笑ったり手拍子をしたり、時に涙ぐんだりしながら、劇を楽しんでいました。この公演を通して、子どもたちは、本作品のテーマである「命の素晴らしさ」「人を思いやること」「だれかを許す心の美しさ」を感じ取ることができたのではないのでしょうか。

このように、「こころの劇場」は子どもたちにとって、豊かな心を育むための貴重な体験の場となっています。
【指導課】



☆小・中学校等の講師募集☆

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

1 募集職種

(1) 県費講師：産前産後休暇等の代替

(2) 市費補助教員：教科の指導のサポート及び学級担任等の補助

2 応募資格

(1) 希望校種または担当教科の教員免許状を所有する方(取得見込みの方も含む)

(2) 地方公務員法第16条の欠格条項及び学校教育法第9条の欠格事由に該当しない方

(3) 教職に必要な見識と熱意を持った、心身ともに健康な方

3 応募方法

*義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 047-383-9261
4 その他

*採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接のうえ決定します。

*登録後、すぐに採用されるものではありません。

【義務教育課】



子どもにかかわる相談は、ここでできます!

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 火～土(9時～17時)

対象：3歳～中学3年生

様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。



◆ほっとホット訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 火～金(12時30分～17時)

対象：小学1年生～中学3年生

不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(9時～17時※木は19時)

Eメールアドレス youngnet@city.ichikawa.chiba.jp

対象：小学1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康などさまざまな悩みの相談(電話、eメール相談あり)を受け付けています。本人の相談も可能です。
【教育センター】